



特集

令和6年度 主な取り組みと予算

お散歩で動物園を訪れた保育園児
【飯田市立動物園】

令和6年度は「結婚や出産・子育ての希望に寄り添うまち」や「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて重点的に取り組みます。

令和6年度 主な取り組みと予算

～「結婚や出産・子育ての希望に寄り添うまち」・
「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて～

令和6年度は、「いいだ未来デザイン2028」中期4年間の最終年です。

未来デザインが掲げる「8つのまちの姿の実現」に向け、「結婚や出産・子育ての希望に寄り添うまち」や「ゼロカーボンシティ」の実現などの取り組みを加速し、中期計画を着実に推進するための予算を編成しました。今月の特集では主な取り組みと予算の概要を紹介します。

● 問い合わせ／財政課 内線2131

令和6年度の主な事業

「いいだ未来デザイン2028」に掲げる「目指すまちの姿」の実現に向けて、令和6年度に重点的に取り組む事業を紹介します。

01 安心して子育てができる環境づくり

■ 保育料負担軽減の拡充 **3,551万円**(影響額)

子育て家庭の経済的負担の軽減を目的として、令和6年9月から実施します。

- 多子世帯の負担軽減
第2子2歳児クラスの保育料無償化【市独自】
第2子0・1歳児クラスの保育料半額
第3子以降の保育料無償化
- 低所得世帯の負担軽減
低所得世帯の保育料軽減(第1子半額、第2子無償化)
- 多子と認定する際の1子目の年齢を「18歳未満の子」から「22歳未満の子」まで引き上げ



自然環境に恵まれた保育

■ 育児休業中の保育所などの継続利用(「育休退園」の解消) **690万円**(影響額)

■ こども医療費の受給者負担(窓口負担)の引き下げ **1,909万円**(影響額)
(1レセプト500円→300円)

■ 医療的ケア児等コーディネーターの配置 **706万円**

■ こども誰でも通園制度の試行実施 **220万円**



女性のための就業支援・起業支援 **1,521万円**

多様化する子育て世代の暮らし方、働き方をサポートするため、デジタルキャリア形成・就業支援セミナーや、女性起業家養成講座など、女性の起業・就業の支援を行います。

- 女性が多様な働き方を実現できるよう、デジタルスキルを高め、テレワーカーとしてのデビューを目指すセミナーを開催します。
デジタルキャリア形成・就業支援セミナー
6カ月間(全48回／1回5時間 ※託児あり)
- ライフスタイルに合わせて自宅で無理なく働きたい、自分の特技を生かした起業をしたい、という女性が、交流を通して起業を考える「起業どうしようかなクラブ(略称:きどくら)」や生活密着型の起業を応援する「女性起業家養成講座」などを開催します。



女性起業家養成講座

02 市民生活の省エネ化・脱炭素化の推進

脱炭素先行地域づくり事業 **3億7,258万円**

令和4年11月に「脱炭素先行地域」として国の選定を受けた川路地区および市内小中学校（公共施設群）において、2030年までに電力使用に伴うCO₂排出量実質ゼロに向けた取り組みを集中的に実施し、早期にCO₂排出量実質ゼロを達成するとともに、2050年ゼロカーボンシティ実現に向けたモデルとして地域内外へその効果を波及させることを目指します。

- 「メガソーラーいいだ」を主要電源施設とした地域マイクログリッド(停電時などに電力を自給できる電力網)の構築
- 川路地区における再生可能エネルギーの活用に向けた太陽光発電設備、蓄電池などの設備導入補助
- 市内小中学校におけるPPA(事業者所有モデル)による太陽光発電設備、蓄電池の導入



メガソーラーいいだ

燃やすごみ削減キャンペーンの展開 **960万円**

家庭から排出される生ごみを減らし、地域全体の燃やすごみを削減します。「生ごみ処理機器」の購入にかかる費用への補助金を増額し、新たにリースに要する経費も対象にします。

環境教育の推進(スマートフォンアプリを用いた生物調査など) **50万円**



03 地域のつながりと防災力の向上

地域づくりを考える学習活動の充実 71万円

自身が持つ問題意識や関心事について、地域の皆さんが集い、話し合い、学び合うことにより、課題を明確化し、地域課題を解決する多様な担い手の育成につなげます。

また、人口減少に対応した自治活動の支援とともに、20地区が輝く生き生きとした地域づくり活動を推進し、普段から地域のつながりを深め、災害など有事の際に共助による防災力の向上を目指します。

- 飯田市自治基本条例の学び直し（まちづくりを振り返る学習会の開催）
- 「20地区田舎へ還ろう戦略」の事例共有、学びの取り組み
- ムトスぶらざにおける学習交流の場「IIDA happiness Lab.」の開催



各地区の事例を共有

地域防災力の向上に向けた取り組み

個別避難計画作成の推進 1,083万円

女性目線による避難所マニュアル・備蓄品の見直し 555万円

20地区地震被害想定調査(防災アセスメント調査) 2,200万円

避難施設のトイレ改修 2億1,161万円

松尾地区の内水排除用ポンプの常設化 3億1,162万円



04 地域経済循環による足腰の強い産業づくり

地域通貨(地域ポイント付与)実証実験 3,669万円

兼業農家・小規模農家の持続化支援 900万円

企業によるアウトソーシングの促進 120万円

新たな産業用地の整備 2,470万円



産業団地を山本地区で整備

05 地域の魅力発信と人の流れの創出

UIターンの推進、関係人口の創出・拡大 2,749万円

地域ブランドの強化 891万円

ツーリズムビジョンの策定 520万円

南アルプス登山口 二次交通の検討 100万円



移住希望者向け空き家見学会

06 “結いの心”を育む学びの充実

- 新文化会館整備(基本計画の策定) **1,415**万円
- 学校部活動の地域クラブ活動への移行の推進 **1,379**万円
- インクルーシブ教育の推進 **1億1,285**万円
- 菱田春草生誕150年記念特別展などの開催 **1,447**万円



全市型競技別スポーツスクール

07 誰もが生き生きと健康に暮らし続けられるまちの実現

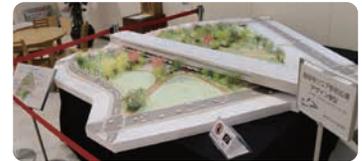
- 介護人材確保の取り組み強化 **690**万円
- 若年層に対する食育の推進 **237**万円
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 **3,358**万円
- 南信濃診療所の整備 **1億1,945**万円



フレイル予防のつどい

08 リニア・三遠南信時代を支える都市基盤の整備

- 土地利用基本方針及び立地適正化計画の見直し **1,167**万円
- リニア駅前広場の整備と運営主体の形成に向けた検討 **16億1,136**万円
- リニア駅周辺関連道路の整備 **3億5,343**万円
- 自動運転サービス導入時の交通影響評価 **2,043**万円
- 道の駅遠山郷の再整備 **6億1,625**万円



リニア駅前広場模型

※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

09 デジタル化によるサービスの充実や効率化の促進

- 市民公開用の地理情報システム(GIS)構築 **3,483**万円
- 電子入札システムの導入 **553**万円
- 公共交通の利便性向上の取り組み **173**万円
- 消防団アプリの導入 **335**万円



主な事業の詳細を「令和6年度当初予算の概要」としてまとめているので、ぜひご覧ください。

ID 116094 🔍 検索



予算の概要

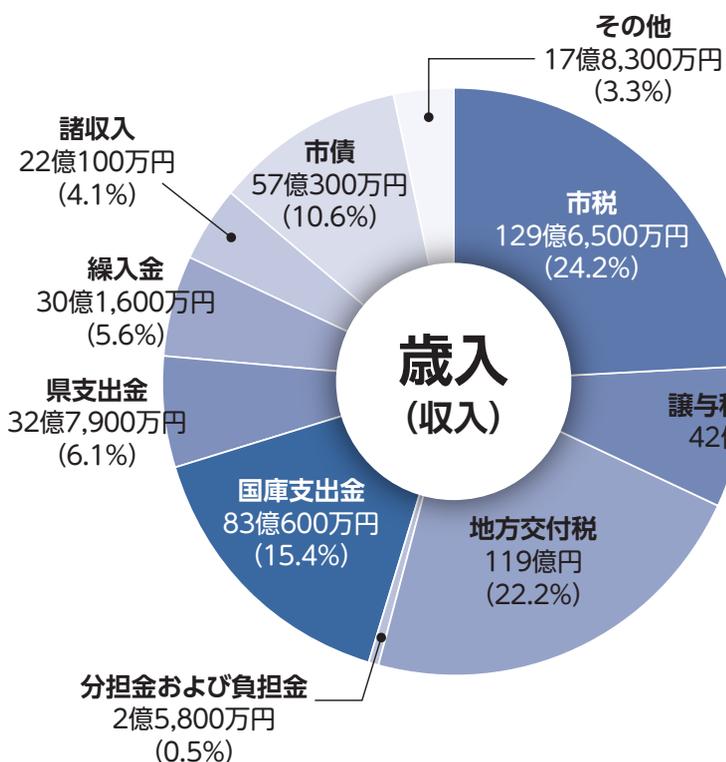
一般会計

市税を主な財源として暮らしやまちづくりに必要な行政サービスを行うための会計

536億7,000万円
(前年度比+9.4%)

一般会計の内訳

令和6年度の一般会計の当初予算は、リニア関連事業に係る用地買収や物件補償のほか、道の駅遠山郷（かぐらの湯）の改修工事、長寿命化計画に基づく上郷小学校の大規模改修工事、松尾東保育園の民営化に伴う園舎建設支援など、大規模な建設工事に係る予算を計上したことにより、前年度の予算規模を大幅に上回り過去最高を更新しました。また、世界情勢の影響による物価高、最低賃金の上昇に伴う人件費や各種物件費の高騰なども予算規模増大の要因となっています。



市税

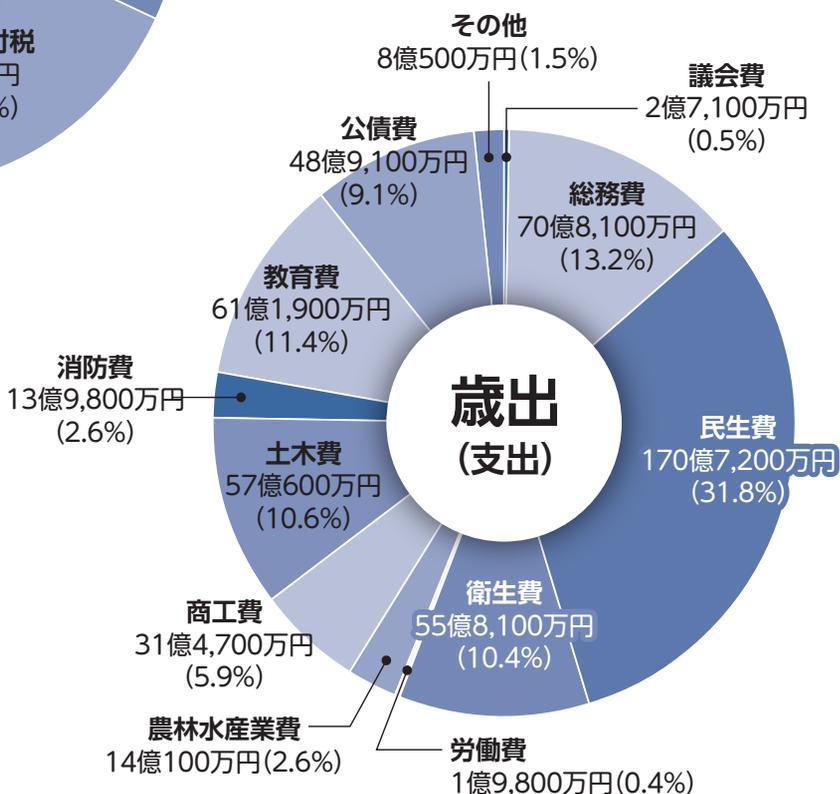
個人市民税や固定資産税など市民の皆さんに納めていただいているものです。

地方交付税

国が集めた税金の一部を地方公共団体に交付するものです。

国庫支出金 県支出金

国や県が使い道を特定し、地方公共団体に交付するものです。



特別会計

特定の事業ごとに一般会計と区別して経理を行う会計。
8つの特別会計と3つの公営企業会計がある

505億 1,680万円
(前年度比-0.6%)

令和6年度歳出予算のポイント

- 総務費** ▶ リニア関連事業(駅周辺整備や二次交通の検討など)を実施します。
- 民生費** ▶ 保育料の負担軽減や「こども誰でも通園制度」の試行、こども医療の受給者負担の引き下げなど、安心して子育てができる環境づくりを推進します。
- 衛生費** ▶ 「脱炭素先行地域」の取り組み、生ごみ処理機器導入補助金などの燃やすごみ削減に向けた取り組みなどを推進します。
- 商工費** ▶ 地域内経済循環に向けた取り組みとして地域通貨(地域ポイント付与)実証実験を実施します。また、道の駅遠山郷の再整備、新産業用地の整備などを実施します。
- 土木費** ▶ リニア・三遠南信時代を見据えた土地利用基本方針の見直しを行います。また、松尾地区内の雨水排水対策として常設ポンプや水位計、監視カメラを設置します。
- 教育費** ▶ 学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた取り組みや、特別な支援を必要とする児童生徒への学習支援の取り組みを推進します。

令和10年度末の基金残高と市債残高に関する目標値

基金

災害復旧などの急な支出に備える**貯金**
財政調整目的基金^(※1)を
27億円程度確保

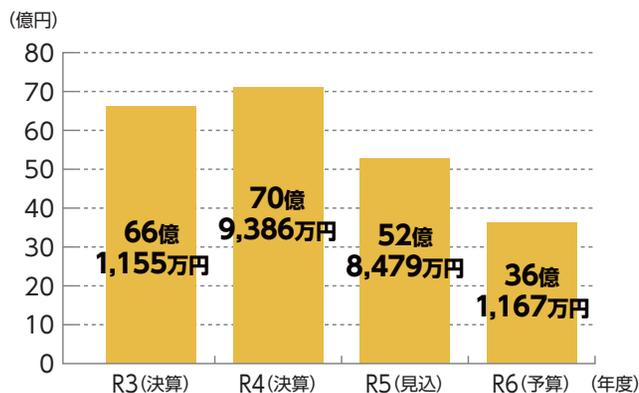
(※1) ①財政調整基金、②減債基金、③公共施設等整備基金のことをいいます。

市債

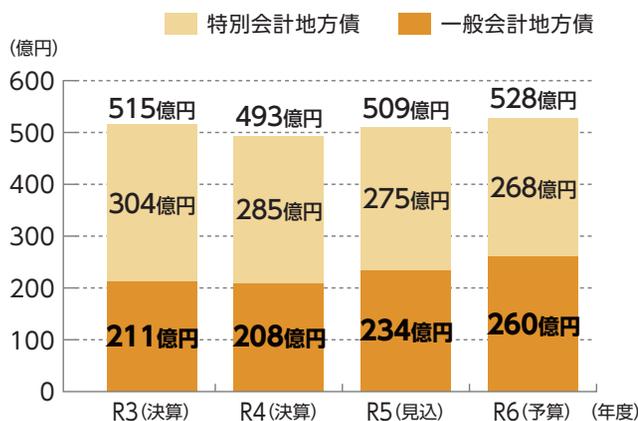
公共事業の財源として市が借りる**借金**
一般会計地方債の残高を
300億円以内に抑制^(※2)

(※2) 返済時に全額交付税措置され、実質的に市の負担がない臨時財政対策債を除きます。

財政調整目的基金の推移



市債残高の推移



大谷選手からのプレゼント 野球しようぜ



追手町小学校でのお披露目会(2月22日)

大谷翔平選手から全国の小学校に贈られたグローブが市にも届きました。子どもたちは「大谷選手のサインがあるとやる気が出る」「これでキャッチボールをしたい」などと話していました。

キャリア教育推進フォーラム 生きる力を育む



竜東中学校1年生の発表

市では地域の人や資源を活用したキャリア教育を、幼児期から高等教育期まで一貫して行っています。

2月10日にはキャリア教育推進フォーラムを開催し、1年間の成果を共有しました。

プログラミング体験 自分で動かす楽しみ



2月24日、小さなパソコン「IchigoJam」を使ったプログラミング教室を開催しました。開発者の福野泰介さんを講師に、自分でプログラミングをして、コンピューターに指示を出す仕組みを学びました。

農村起業家育成スクール発表会 農村発のビジネス



発表会で最優秀賞を受賞した大屋敷さん

2月17日、地域資源を活用したビジネスプランを、スクールで学んだ5人の受講生が発表しました。中山間地域の強みを生かした事業の事業化に向け、地域の皆さんと一緒に市も応援していきます。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

飯田市公民館大会 人をつなぐ地域活動



渡辺豊博さんによる基調講演

2月18日、地区役員などが各地区の実践事例を共有し、今後の公民館活動について意見交換をしました。参加者からは「楽しいことを取り入れて、無理なく活動することが重要」といった意見が出ました。

スポーツセミナー 緊張との向き合い方



3月10日、スポーツに関わる方を対象にしたセミナーを開催し、講師に平昌五輪フィギュアスケートペア日本代表の須崎海羽^{みう}さんを迎えました。試合前の気持ちの作り方などの実践的な話がありました。

オススメ本を教える「コロポン」 新しい本との出会い



子どもの年齢に合った本を教えてくれる「コロポン」を中央・上郷・鼎図書館に5月23日まで設置しています。ボタンを押すと本のタイトルが書かれた紙が出てきます。ぜひお試しください。

歴史研究所設立20周年 先人の思いを継いで



2月17日、歴史研究所設立20周年のワークショップを開催し、これまでの活動を振り返りました。これからも市民の方々と共に地域から愛される研究機関として、歴史研究所の活動を進めていきます。

現代版 養生訓

かいようせい 潰瘍性大腸炎について



消化器内科
清水 祐樹 医師

近年急増の一途をたどっている潰瘍性大腸炎やクローン病を代表とする「炎症性腸疾患」という病気をご存知でしょうか。今回は潰瘍性大腸炎についてお話しさせていただきます。

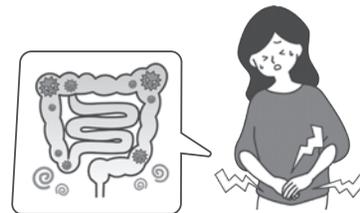
英国にて世界で初めて報告されたのが1859年とかなり昔ですが、以降西欧諸国をはじめとしてアジアでも報告が相次ぎ、現在日本では推定患者数が20万人を超えており、日本は米国に次いで2番目に潰瘍性大腸炎が多い国です。飯田下伊那地域にも多くの患者様がおられ、日々診療に携わらせていただいております。

潰瘍性大腸炎は大腸に炎症を引き起こす病気であり、血便(赤い血が混じる便)や腹痛、下痢が主な症状です。若年者に多く発症しますが、最近では60歳以上の患者様も増えています。原因は未だ不明な点も多く、遺伝的な要因や環境要因、衛生状態や食生活の変化などが関与していると言われております。

最終的には腸内の免疫系の異常をきたす事で大腸の幅広い範囲に炎症を起こします。治療には免疫を調

節したり、抑制したりするお薬を投与する必要があります、専門医療機関での治療が必要です。潰瘍性大腸炎は、発症から長い経過で増悪(病気が悪くなる)や寛解(病気が落ち着く)を繰り返し、さまざまな世代のライフスタイルや生活の質に影響を及ぼすため、適切な内服や注射による病気のコントロールが非常に大切です。重症度は個人差もありますが、適切にコントロールができれば病気をお持ちでない方と変わらない生活を維持することが可能な時代となっています。

腹痛や下痢(ときに血便)といった症状はしばしば経験しうる症状ではありますが、潰瘍性大腸炎をはじめとする炎症性腸疾患が隠れていることもあるので、お困りの方は、かかりつけ医または当院へぜひご相談ください。



飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.37

野球しようぜ!

市長室から

市長 佐藤 健



大谷翔平選手から贈られたグローブが2月の終わりに(やっと)市内の小学校にも届きました。メッセージカードとともに。

私が子どもの頃は、外遊びと言えば、野球。近所の子どもが自然と集まってきて、日が暮れるまで球を追っていました。

思い出すのは、小学校1年生の頃、父に作ってもらったバットのこと。その頃、我が家は薪で焚くお風呂だったのですが、父がその薪を削って青色のペンキを塗ったバットを作ってくれたのです。

嬉しくて公園に持っていったら、年上の子に取り上げられ、その子は軽々と片手でそのバットを振って楽しそうに遊んでいるのですが、自分は使わせてもらえず、「お父さんが

作ってくれたんだ、返して!」と泣いて頼んで返してもらったシーンを時にふと思い出します。

その後、小学校高学年になって買ってもらったバットやグローブを今でも捨てられないのは、その時のことがあるからかもしれません。皮の薄いノーブランドのグローブ、まだ使っています。息子の球を受けるには、中に軍手をはめないと痛いですが。

子どもたちには、大谷選手のグローブを大切に使ってほしい。飾っておくのではなくて、しっかり使って、しっかり手入れして。いつかボロボロになったとしても、大勢の子どもが野球を楽しむきっかけになったとすれば、大谷選手は喜んでくれるはずです。

新学期。さあ、「野球しようぜ!」